

Title	動態的競争戦略の経営資源アプローチ
Sub Title	
Author	長島義剛(Nagashima, Yoshitaka) 和田充夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1988
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1988年度経営学 第626号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001988-0626

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 長 島 義 剛 主査 和 田 充 夫
(富士ゼロックス株式会社) 副査 片 岡 一 郎
所属ゼミナール 和 田 充 夫 研 嶋 口 充 輝

動態的競争戦略の経営資源アプローチ

今日、マーケティング戦略は企業内の1部門のみの問題ではなく、企業を取り巻く外部環境構造を十分に把握した上で、企業内の諸機能である財務、生産、人事そして組織構造にまで、密接に関与しながら索定される全組織的な統合戦略と位置づけられる。

本研究は、このような視点にたち、競争戦略が影響を蒙る3つの外部環境条件と3つの経営資源のタイプ、さらに2つの経営トップの志向性という内部制約条件の抽出を行った上で、第1に各条件要素の戦略に及ぼす影響。第2に各条件要素毎に高業績を生む戦略の特性を実証研究することにより明らかにした。その結果、3つの制約条件はそれぞれ経営成果に影響を及ぼしていることが判明した。

つぎに、これらの分析結果をうけて、環境・経営資源・ポートフォリオ・ポジションという3つの制約条件の組み合わせによる、戦略類型マトリックスの構築を行い、条件適合的な戦略についての導出を試みた結果、制約条件の組み合わせの異なる12の戦略パターンを得ることができたので、具体的な戦略内容を記し、実際の戦略策定に際して参考となる現実的な提言とした。

さらに、これらの戦略の内容の検討から、製品革新の志向性の強弱と、拡大か深耕かという市場展開の方針の違いという2軸によって、4つの戦略の方向性があることを示唆した。

最後に、各制約条件が戦略に、どのように影響しあっているのかを検討し、戦略が全般的に、経営資源の制約を最も強く受けてはいるものの、外部環境の違いにより『資源適合』を優先する戦略の必要性の高い場合と、『環境適合』を優先する戦略の必要性の高い場合があることを提言した。